No. 13　2009.8.10

歴史ロマン古道ニュース

【発行】歴史古街道団
事務局 〒206-0013 東京都多摩市桝ヶ丘4-36-21 APT1・2・3-302 宮田太郎（歴史古街道団 団長）
ホームページ http://homepage3.nifty.com/kokaido/ TEL/FAX 042-389-5534

団創立5周年記念
(財)多摩交流センター助成事業

11月1日(日)開催

聖蹟桜ヶ丘駅西口改札前
9：30集合

◆参加費500円(中学生以下無料)
◆申込不要
◆小雨決行

さきもりまつり2009

万葉防人の道ウォーキング

メイン会場/多摩市・大谷戸公園（多摩市連光寺5-17-1）

2004年10月9日に誕生した歴史古街道団は今年で満5年目。団の指導体制も一新し、ホームページをリニューアルオープンするなど、パワーアップして確実な歩みを開始しました。

5周年にあたり「多摩丘陵の古街道遺跡群(多摩古道)を各市の特別観光文化遺産にしよう！」をスローガンに、当面は近隣の自治体と提携しながら歴史資源の保全・活用への提案や啓蒙を続けていきます。そのひとつとして今年も11月1日(日)「さきもりまつり2009」を開催します。

～聖蹟桜ヶ丘からスタート～

過去4回の「さきもりまつり」は武蔵国府のあった府中・大国魂神社から出発していましたが、市街地を歩くため危険が多いことや、歩行距離が長いなどの指摘があったこと等から、今年は多くの人が参加出来るよう集合場所を京王線・聖蹟桜ヶ丘駅一箇所に変更しましたのでお間違いないようにお願い致します。

今年のポイントと見どころは、本物の大規模な古街道(防人の道？)を実際に見ること、小野路別所まで足を延ばすことです。永山6丁目の「防人見返りの峠」からすぐの山林内にある「並列する大規模な二つの古道跡」を時代衣装を着た防人たちと一緒に歩きましょう。ご期待下さい。

〔コース〕聖蹟桜ヶ丘駅西口9：30集合～(多摩市立健康センター前公園にて受付・出発式)～大坂～連光寺・春日神社～高西寺～打越山遺跡～メイン会場:多摩市大谷戸公園（昼食、万葉歌朗詠、抽選会ほか）～多摩よこやまの道～防人見返りの峠～並列する古街道跡～～古道五差路～小野路別所バス停～多摩センター・永山・聖蹟桜ケ丘駅方面へ。

～募集します！～

①古代衣装の出演者＝例年どおり古代衣装を着た祭りの出演者を募集します。大伴家持・国司・引率する役人と兵士(数名)・防人(数名)・防人の妻(数名)・家族や村人(数名)・子ども達(2～3人)など。(若干の謝礼あり)

②出店者・ボランティア＝メイン会場(大谷戸公園)で1坪オープンショップコーナーを設けます。手作り作品等販売したい方は気軽に出店してください。テント・敷物・看板等は各自ご用意ください。また、歴史古街道団も各種歴史資料や布ぞうりのほか、防人汁(豚汁)販売を予定しています。模擬店販売協力員を募集中です(性別・年齢不問)。

③写真展の作品募集＝応募者に記念品贈呈

☆応募要領/①～③のうち希望の番号と応募内容・住所・氏名・性別・年齢・電話番号を明記して団の HP または事務局へ郵送で応募してください。直接役員への申し込みも可。

こくふロマン交流祭 in 府中

10月24日(土)・25日(日)

日本初！国府のお祭り・防人パレードの成功を！

府中市の市制施行55周年記念事業「国府ふるさと2009」が10月24・25日開催されます。宮田団長・今野顧問が実行委員に、歴史古街道団も協力団体として参加します。団員の皆さんもご観覧下さい。

24日(土) 国府サミット&シンポジウム(13：00～、600名)
25日(日) 国府祭パレード(防人パレード他10：00～)
さきもり一行の古代衣装パレード＝大国魂神社周辺と、けやき並木通りで実施(歴史古街道団が全面協力します)

№13

多摩古道の魅力を体感しよう！

秋から冬、３つのテーマで歩く！

宮田太郎団長と行くロマン紀行

2009年秋～2010年春の探索ウォーク３つのテーマ

現地案内ガイド講師：宮田太郎

1、多摩よこやまの道と多摩丘陵の古街道遺跡群の価値と魅力を深く知る
2、全国の歴史ある町と古街道の魅力を知る
3、厚木で発見した関東最古級？の前方後円墳見学会開催

日本各地の歴史資源を実地踏査して気がついたこと――それは多摩丘陵に残された古代・中世・近世の古道と関連する遺跡群は、我が国の歴史研究上、極めて重要な価値を持っていると確信出来たことでした。

またそれらが年々失われつつも、まだ良い保全環境のままに残されていることです。集中的に古代国道や古代遺跡、鎌倉街道と宿・関所・山城・武士の里、近世往還道などの遺跡環境が残されていることは、多摩７市（多摩・町田・川崎・横浜・八王子・稲城・日野）にとって極めて観光資源として有用であり、地方分権時代において、各市が連携の上、本格的な保護・保全と、観光活用が緊急に図られなくてはならないということです。これまで永年にわたり一緒に研究を続けてきた研究仲間にとっても、その成果を広く知っていただくことは永年の念願でもあります。古街道団創立５周年記念にあたる今、団員の皆様には、より深くその意義を知っていただくためにシリーズでの探索ウォークを実施することになりました。ぜひこの機会に地元の遺産をよく学び、また楽しんでいけたら幸いです。

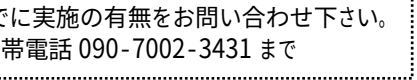
■２００９年９月２２日（火・祝）

ちょっと足をのばして、小田急線と御殿場線で行く

富士山麓小山町と御殿場の足柄古道防人道

〔内容〕東日本と西日本を往来した街道のうち、太平洋側を通った街道はすべて富士山を見ながらの通行であったといってもいいでしょう。足柄峠を下って小山町から御殿場へ。富士山麓に残る数多くの史跡と湧水群。小倉野でみつけた藤原“鎌足神社”に秘められた歴史や、防人たちが歩いた古代東海道などを追って絶景の富士山麓を探っていきます。

〔コース〕小田急線で新松田駅９：００～JR 御殿場線「松田駅」～JR 御殿場線「足柄駅」～竹之下の嶽之下神社と古代東海道跡～足柄駅付近で各自弁当昼食～一里塚～小倉野の鎌足神社～深沢城跡と足柄街道～七社神社～富士巻狩りの地・大雲院～路線バスで JR 御殿場駅または足柄駅～御殿場線・小田急線で町田駅。約６キロ。町田解散は 18:00 頃。



ウォーキングの共通参加事項

◆参加費＝団員７００円（ご夫婦は２人で 1,000 円）
一般は１人 1,000 円。
◆持ち物＝雨具、飲み物持参。昼食は飲食店利用の場合と各自弁当の場合がありますので詳細は各案内参照。
◆雨天の場合は基本的には中止（ただし小雨の場合実施することがあります。朝７：３０までに実施の有無をお問い合わせ下さい。
【お問合先】宮田団長の携帯電話 090-7002-3431 まで

■２００９年１１月２２日（日）

「多摩よこやまの道」と「古街道遺跡群」を深く知るシリーズ①

連光寺の古代測量台と天王森舟ヶ台

〔内容〕聖蹟桜ケ丘は南方に向かって扇状に広がる多摩古街道群の中心。武蔵野や多摩川を眼下に一望できる多摩丘陵の高台「連光寺天王森」地区は、標高１５０ｍで唐木田山王塚と並ぶ多摩市最高地点の一つ。山の高台なのになぜか「舟ヶ台」と呼ばれる。埼玉県の狭山丘陵の八国山との間の古代測量台なのか。尾根の古道と発掘から見えた多摩丘陵の意外な古代史を訪ねて歩きます。

〔コース〕京王線聖蹟桜ヶ丘駅西口改札前に１０：００集合～大栗川と乞田川合流点～向ノ丘の奈良時代住居発掘地と小野小町歌碑～縄文遺跡～桜ヶ丘公園夕日の丘（武蔵野大展望）～聖蹟記念館（各自弁当昼食）～後北条氏の赤坂駒飼場古戦場～成満寺～舟ヶ台の展望地～白山神社と古道～天王森八坂神社とスダジイの古木～多摩のランドマークと大展望の縄文遺跡～京王線若葉台駅または永山駅へ（路線バスあり）。約６キロ。解散は 15:50 頃。

■２００９年１２月８日（火）

薬師池から本町田井出の沢古戦場の古街道

〔内容〕町田市の薬師池は薬師台方面から来る伝説の大山街道と支線鎌倉道のぶつかるところ。また行基伝説もある福王寺薬師堂から本町田えびね園へ、一般説の鎌倉道ルートについて、再検討していきます。

〔コース〕小田急線「鶴川駅」北口改札前に１０：００集合～路線バスで袋橋～伝・大山道～野津田神社～薬師池（弁当昼食）～薬師堂～リス園前の大山道～えびね園～今井谷戸～日蓮が泊った宏善寺～本町田古戦場～本町田遺跡公園と市立博物館見学～バスで町田駅。解散は 15：50 頃

■２０１０年１月２３日（土）

新年特別企画ウォーク

町田で最も美しい古街道跡を訪ねる

土方歳三が歩いた竹林の中の古街道

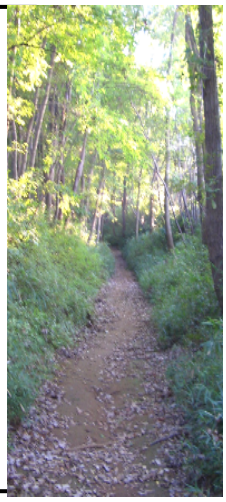
〔内容〕町田市の小野路にはとても美しい竹林の中の古道跡が残されています。知る人ぞ知る大きな掘割状の道は、甲州街道日野宿から小野路宿に向かった土方歳三の剣術出稽古の道でもありました。宿で出された、たくあん漬を美味しいと褒めたら帰りには樽ごと土産に持たされた歳三が、

祝！歴史古街道団創立五周年

提言 1、町田の歴史古街道群　を　“特別観光文化遺産”にしよう
2、多摩よこやまの道　を　“多摩の歴史観光の拠点”にしよう
～鎌倉武士や防人が越えた長い丘･八ヶ岳から古代人が通った縄文ロード～

新しい時代がいま静かに始まりました。それは遺跡や史跡や伝説地などの土地に根差した文化遺産をこれまでとは反対に、むしろ活かした開発やまちづくりを行っていくという新しき「観念」の始まりです。企業の逆転的発想時代の到来、行政の緑資源の保護･自然や歴史･文化を活かした地域観光化時代の到来、そして私たち国民一人一人の、「むかし」を大事にし、活かす（温故知新）が本格的に始まる時代の到来です。

今年 10 月 9 日、古街道団は創団五周年を迎えます。ずっと長い間、活動フィールドとして親しませて頂いた町田市の里山に今も残る貴重な歴史古道と関連する遺跡群。その素晴らしい歴史景観の保護と活用のために、当団では5周年のスローガンとして町田市内の歴史環境保護を一番に掲げ、本格的な活用のための手法やアイデアを町田市に提案し、協力していきます。



一人樽を担いで帰ったエピソードがあり、その後姿が今にも見えてくるかのようです。そのすぐ裏手のピアノカフェ･ショパンで熱いコーヒーや紅茶で体を温めてから帰りましょう。
〔コース〕多摩センター駅小田急線改札前に10：00集合
～路線バスで南野高校前～一本杉公園の大山街道痕跡～土方歳三が歩いた日野往還・小野路道跡～鎌倉古道の砦跡（一本杉公園内）～昼食（一本杉公園内で各自弁当）～矢倉沢往還と徳川家康の御尊櫃御成道（ごそんひつおなりみち）～子育て地蔵尊～宿裏道～日野往還（府中道・小野路道）～竹林の中の美しい古道跡～ピアノカフェ･ショパンで休憩～一本杉公園～路線バスで多摩センター駅。約4キロ。解散 16:00 頃。

■2010年2月11日（木･祝）
古道の聖地･三社大権現･布田道と謎の古墳

〔内容〕東西に約10km 延びる多摩よこやまの道。そこから南北に派生する多摩古道群。神奈川県境が東京都側に入り込む黒川の奥地と、町田市小野路別所との境付近で、以前に研究上の分類案として団長が軍事戦略鎌倉道（南北朝･室町期に発達した軍事色の強い鎌倉道）と命名した古道がある。古代交通研究会の木下会長も論文の中でもその道や宮田説についてふれている。

この軍事鎌倉道と、調布や稲城方面から小野路に続く布田道、さらには町田市真光寺町を通って武田方の甲州道、計三本の古道が接する山の頂点にその聖地はあります。聖地は分厚い縄文土器が散乱しており祭祀の場であったのか。謎の古墳とともに隠れたこの聖地にスポットをあてます。
〔コース〕多摩センター駅小田急線改札前に9：30集合～
路線バスで五反田～下堤古道～三社大権現（駒犬像、聖地、水口様、富士塚古墳）～伝・甲州道～飯守神社～武田兵糧庫跡～真光寺で自由昼食（スーパー、飲食店、コンビニ複数あり）～真光寺公園～いずみ浄苑前の布田道（新選組・近藤勇、沖田総司の道）～電源開発～三社大権現～小野路別所バス停。約6キロ。解散 15：50 頃～永山、聖蹟桜ヶ丘、多摩センター、鶴川方面へ。

■2010年3月7日（日）
”厚木に最古級の前方後円墳？！仮称：高松山古墳･見学会”

〔時間：集合〕①12：00/小田急線「本厚木駅」中央改札口出て左の広場に集合　②14：00/厚木市愛名の愛名緑地に集合（トンネル手前に駐車場あり）
〔内容〕**一般＆団員・現地説明会**：愛名緑地　14:00～。高松山山頂にて 14:30～16：00(当地関係者挨拶　歴史古街道団団長の現地解説ほか）　その後歩いて小野の里へ（路線バスで本厚木駅や伊勢原駅へ）
〔対象者〕：一般　古街道団員　関係者
※申込み不要　参加費無料　資料代（希望者のみ300円）
※関連記事を 4～5 ページに掲載

講演会　**多摩の発掘調査事例**
「打越山遺跡」･「和田西遺跡」
～古代道路跡、縄文前期の大型建物跡の出現～
☆講師：山崎和巳氏（多摩市教育委員会文化財課学芸員）
☆日　時：9月6日（日）　14：00～16：00
☆会　場：多摩市関戸公民館8階大会議室
☆参加費：500円（一般700円）
〔内容〕多摩市は、西日本と東日本を、また武蔵野と相模野を結ぶ歴史古道が集まっていた特別なエリア。
そこですでに発掘された遺跡の中に歴史上、特筆すべき重要なものはなかったのか。大規模開発が終わって久しい今、問い直す時期が来ている。
聖蹟桜ケ丘に近い連光寺の発掘現場から出現した7世紀（飛鳥時代）後半頃の大規模な道路跡は果たして防人が歩いた「古代東海道」であったのか。そして中間層で見られた中世の道路跡は伝説の鎌倉街道早ノ道であったのか。

また、和田地区の発掘で発見された縄文遺跡からは、三内丸山遺跡等と同じような大型の建物跡やロングハウスといわれる集会所のような大型建物跡が見つかっていた事実！担当者であった山崎さんに当時を振り返り、その思いをお話しして頂きます。

普通救命講習（AED）にご参加下さい！！
9月14日（月）　8：45～13：00（集合時間厳守）
〔会場〕多摩消防署（永山駅前）
〔内容〕救命救急活動の習得
※参加講習費：初めての方 1,400 円　再講習の方 1,200 円
※スカート不可。ズボン着用のこと。
※参加申し込み：9月1日までに下記へ
TEL：090-8515-9439（和智）

ガイド・リーダーと行く史跡探索

ガイド･ウォークの共通参加事項
･参加費＝団員/５００円　一般/７００円
･申込不要　･弁当･雨具持参

●9月 13 日（日）
幻の「真慈悲寺」と中世の山城「百草城」

ガイド：佐藤文俊(団員)

【内容】「武蔵国真慈悲寺」は、鎌倉幕府によって編まれた日記体の史書「吾妻鏡」に、文治２年（1186）源頼朝の援助によって再興され（同年２月３日条）、建久３年（1192）後白河法皇の四十九日法要に頼朝の命により浅草寺に並ぶ３口の僧を参加せしめた（同年５月８日条）と記録されている。今は幻となったこの大寺院は、名所梅園「百草園」を中心とする百草山全域が寺域と推定されていることから、近年、付近にて大々的に発掘調査が行われ、様々な関連遺構が発見されている。またここは、当団団長の宮田太郎氏が昭和 63 年（1988）２月に中世の山城「百草城」であったとマスコミに発表、世間に一大センセーションを巻き起こした所でもある。今回は、発掘現場や出土品、城郭遺構を訪ね、これらを検証してみたいと思う。

【コース】京王線「百草園駅」改札口前１０：００集合～大宮神社前～七生遊歩道～寿昌院墓～百草城址～八幡神社～①発掘現場跡～古鎌倉道～②発掘現場～百草園（昼食）～マシイ坂～朝日様～観音堂～発掘調査センター～倉沢～新堂ヶ谷戸～ヘッピリ坂～山の婆坂～有山屋敷跡～京王線「聖蹟桜ヶ丘駅」解散（15:30 頃）　約 5.3km

連絡先：佐藤文俊（☎042-373-3193）

●11 月 14 日(土)
鎌倉街道秩父道と八王子城上道を探る

ガイド：山下　実(団員)

【内容】北條氏照は天正 10 年(1582)頃、八王子城を築き滝山城から移転したと伝わりますが、その移転は城下町全体を含めたものでした。そのため、本城小田原との道も新設･普請されましたが、城下･多摩御陵等に残る道筋を探ります。また、鎌倉幕府の御家人梶原景時由来の八幡神社を訪ね、城下町から城につながる上級武士用の上道と、一般武士用の下道を確認し、大木戸にある北條氏照の菩提寺･宗関寺を訪ねます。

【コース】ＪＲ中央線／京王線「高尾駅」南口（京王側）改札口前９：３０集合～ＪＲの古道ガード（仮称）～南浅川に掛かる、こどう橋　～稜南公園（休憩）～多摩御陵入り口～日光神社～稜東公園～多摩御陵内の鎌倉街道～出羽山公園（昼食）～八王子城下町～梶原八幡神社～赤門橋～八王子城への下道と上道～大木戸･宗関寺（15:00 頃解散予定･約6km）。高尾駅行きのバス多数。

連絡先：山下　実（☎携帯 090-5208-3123）

●1月 16 日(土)
鎌倉街道秩父道と案下道を探る

ガイド：山下　実(団員)

【内容】八王子城搦め手側の恩方町川原宿は当時の八王子と甲州を結ぶ案下道と南北の鎌倉街道秩父道が交差する宿。周辺には八王子城の物見台に使われたと伝わる小田野城址･浄福寺城址があり戦略的にも重要な地域でありました。また、武田信玄の子女松姫が信州高遠城から案下道を通り頼って来たと伝わる心源院、永正の頃（1504～1521）から江戸時代までその時々の治世者の庇護を受け名刀を残した刀匠達の郷「下原刀鍛冶発祥の地」なども訪ねます。

【コース】ＪＲ横浜･中央線「八王子駅」北口改札口前　９：３０集合＝路線バス＝切通し～日枝神社～切通しから古道～菅原神社～小田野城跡（昼食）～心源院～上宿～辺名～金山神社～恩方車庫（15:00 頃解散予定・約6km）。高尾駅行きのバス多数。

連絡先：山下　実（☎携帯 090-5208-3123）

●2月 27 日（土）
半日のミニウォーキング「ハケの道シリーズ Ⅵ」
国分寺崖線の今昔

ガイド：佐藤文俊(団員)

【内容】崖線をハケとも云う。その昔、多摩川が削り残した爪跡の一つに国分寺崖線がある。立川の砂川九番辺りに端を発するこの崖線は、武蔵野台地を乗せて約 30km 先の大田区田園調布で終わる。その裾にはハケの湧水を集めた野川が流れて

関東で最古級の
厚木市・愛名高松山

☆　調査実施日：5月5日（祝･火）、6日(祝･水)
☆　調査地：神奈川県厚木市愛名･高松山
☆　測量者：(有)アラキコンサルタンツ　宮崎光美
☆　参加者：２４名

今年の５月５日･６日の連休２日間の予定で実施した厚木市の仮称・高松山古墳測量調査は、生憎の雨天のため５日だけの実地測量であったが、会員の三宅幸洋さんが準備に奔走され、ご好意で手伝ってくれた(有)アラキコンサルタンツの皆さんのお陰で、最新式のデジタル測量器を投入でき、正確な全体像を把握することが出来た。

測量の結果、高松山の実態は標高 146.5 ㍍、山頂部を中心にほぼ南北方向で造られた古墳？の形状は、標高 140 ㍍ラインを古墳の最下部と考えると全長 64 ㍍、前方部長 34 ㍍、後円部長 30 ㍍、前方部表面高と後円部の頂部の比高差は 2.7 ㍍であった。

参加した団員全員で前方部の表面を掃き掃除したところ、多くの土師質土器片や変色した土の色で何らかの遺構と思われる部分も確認された。

このことから、この低丘陵の上には、ほぼ南北に延びた前方後円墳が横たわり、後円部が前方部に比べてかなり高く、バチ形に広がる前方部の形状から、かなり早い時代の古墳が山の上に存在していた可能性が出てきた。

古墳の後円部の西側を見る。きれいな人口的斜面が全体のフォルムを創っている。

高麗若光ラインの線上に位置

厚木市中心部から西へ約４キロの地点にある愛名の高松山周辺には、地頭山古墳、岡津古久古墳、天神山古墳、愛甲大塚古墳など、

前方後円墳か？
古墳大調査報告

山頂古墳の面影残す高松山付近
(西側の毛利台から見る。正面右が高松山。左後方は大山)

雨の中の測量の様子。
標高 140m とはいえ、きつい斜面が一周している。

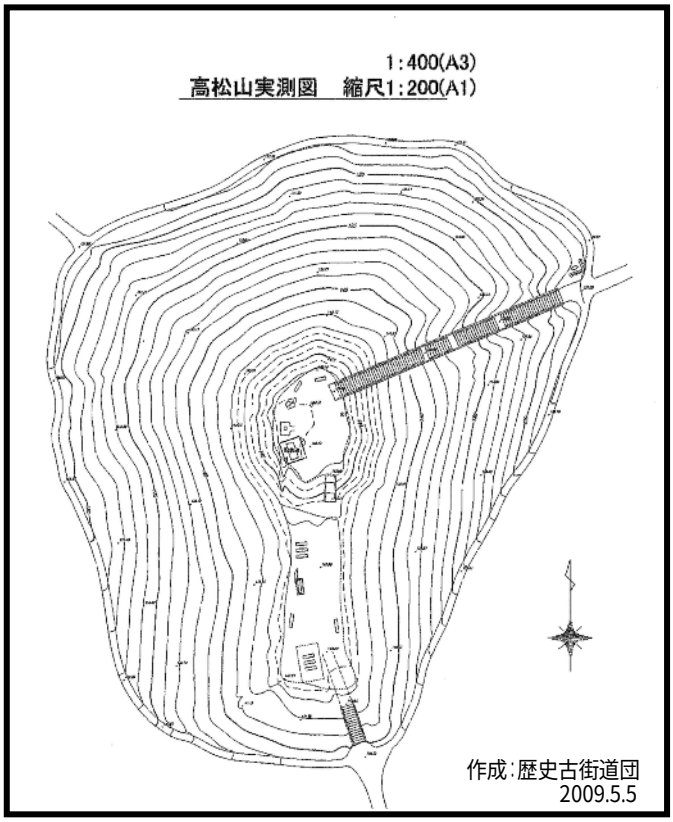
多くの土器片と遺構を確認

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

古墳時代前期から中期の前方後円墳や円墳、ほか数多くの後期古墳群がすでに知られている。珍しい「相撲取り埴輪」で知られる堂山古墳からは南３キロ地点だ。

南方の玉川河岸には式内・小野神社があり東京の町田市・多摩市・府中市の各小野神社とは一本線で結ばれ、平安時代に琵琶湖や丹波地方から来た小野氏が武蔵国府の国司に赴任した際の交通路である奥州古道の一路線と重なっている。また大磯高麗山と埼玉県日高市高麗本郷の旧高麗郡衙をほぼ南北に結ぶ「高麗若光ライン」の線上にあり、古代測量台が存在した可能性もある。

2000 年２月に宮田団長が確認し、行政機関や専門家に報告するも、具体的な調査に至らずに 10 年。いよいよ歴史古街道団の手で、「山頂（にある）古墳」の存在や、知られざる関東最古級？の古墳がまだ眠っていた事を証明する機会が訪れたともいえよう。来年３月、再度現地での見学会を行い、地元の貴重な文化遺産として、将来は地元が保存・活用していく道が開かれる事を期待していきたい。



いる。太古の昔より水ある所に人々が集い、日々の住処をつくってきた。厳寒のこの時節、陽光差し込む午前中に南麓に連なるハケ道の往古を偲んで歩いてみたい。健康志向の高貴（？）高齢者向け。

【コース】ＪＲ「国分寺駅」改札口前９：３０集合～殿ヶ谷戸～一里塚橋～もみじ橋～新次郎池～くらばね坂～野川水辺～貫井神社～新小金井街道下～滄浪泉園～薬師道～幡随院～小金井小次郎墓～小金井神社～谷口屋敷～金蔵院～六地蔵と黄金井戸～JR「武蔵小金井駅」南口解散（12:30 頃）　約 4.7 km

連絡先：佐藤文俊（☎042-373-3193）

●3月 26 日（金）
兵どもが夢の跡　鎌倉街道上ノ道と小手指原古戦場

ガイド：佐藤文俊(団員)

【内容】鎌倉武将が「いざ鎌倉」と馳せ参じた道の一つに、関東を南北に貫く「鎌倉街道上ノ道」がある。その沿道で、元弘の変（1333 年）の新田義貞鎌倉攻め、その鎌倉の奪還を目指した北条時行の中先代の乱（1335 年）、父の仇討ちを果たすため義貞の遺児義興・義宗兄弟が足利と激突した武蔵野合戦（1352 年）と、時の覇権を賭けた歴史の転換期に何度も登場するのが、ここ「小手指原古戦場」だ。水温むこの季節、春の息吹を感じながら往時駆け抜けたであろう、この「兵どもが夢の跡」を追想して辿ってみたいと思う。距離は少々長いがアップダウンが少なくほぼ平坦で、高齢者にも優しいウォーキングコースとなっている。

【コース】西武多摩湖線「武蔵大和駅」改札口前９：３０集合～赤坂道～狭山公園～氷川神社～湖畔の道～ゴルフ場横～トトロの森～山口城址（自由昼食、お食事処数店有り）～中氷川神社～切り通し～椿峰 NT 遊歩道～北野神社～小手指原古戦場～白旗塚～誓詞橋～狭山湖通り～西武池袋線「狭山ヶ丘駅」解散（15:30 頃）　約 8.8km

※多摩市周辺の方は多摩モノレール「玉川上水駅」～西武線「萩山駅」乗換、または「国分寺駅」で多摩湖線乗車が便利です（共に所要約１時間）。

連絡先：佐藤文俊（☎042-373-3193）

研究調査報告

暦の 2000 年を歩くーその 1

須知　正度　(団員)

はじめに

歴史の愛好家や研究者が暦の由来などに関することを基礎知識として持つのは重要である。本稿では 2 回にわたり暦の由来や作られ方を概観してみようと思う。

まず、我々の身の回りに数多く存在し、行動を縛っているカレンダーの由来を見よう。

蛸は、英語で八本足を意味するオクトパスだが、オクトーバーは 10 月だ。8 (オクト) に関係して、八番目の月ということ。今のカレンダーの 9〜12 月は、7〜10 番目の月だった。古代ローマ暦の 1 年が 10 ヶ月であったことの名残りなのである。では、カレンダーの由来を尋ねて、古代ローマから 2000 年を歩いてみようか。(表1)

表1. 西洋暦の年表

年代	西洋暦の変遷	暦の基準	年初/月初の指標
?	古代エジプト暦	太陽	冬至?
前753年頃	ロムルス暦 (ロムルス；ローマ建国の祖)	月	春分?／朔
前710年頃	ヌマ暦 (ヌマ；ロムルスの後継者)	月	春分?／朔
前153年頃	ヌマ暦の改革	月	冬至?／朔
前　46年	ユリウス暦 (ユリウス・カエサル)	太陽	冬至?
前6年〜4年	アウグストゥスの改暦 (初代ローマ皇帝)	太陽	冬至
325年	春分の日、復活祭の日程決定 (ニカエア宗教会議 コンスタンティヌス1世)		
1582年	グレゴリオ暦 (ローマ法王グレゴリウス13世)	太陽	1月1日

1．古代ローマ暦

古代ローマ暦の最初は、ローマ建国の祖、ロムルスが前 753 年頃作成した月の満ち欠けを利用した暦でロムルス暦と呼ばれている。ついたち (朔日) は「月を呼んだ日、カレンダエ」と言い、カレンダー (暦) の語源となっている。

表2. 古代ローマの太陰暦

順序	ロムルス暦		ヌマ暦		ヌマ暦の改革	
1月	Martius (マルティウス)	31日	Martius	31日	Januarius	29日
2月	Aprilis (アプリリス)	30日	Aprilis	29日	Februarius (Mercedonius) (メルケドニウス)	28日 (22/23日)
3月	Maius (マイウス)	31日	Maius	31日	Martius	31日
4月	Junius (ユニウス)	30日	Junius	29日	Aprilis	29日
5月	Quintilis (クィンティリス)	31日	Quintilis	31日	Maius	31日
6月	Sextilis (セクスティリス)	30日	Sextilis	29日	Junius	29日
7月	September (セプテンバー)	30日	September	29日	Quintilis	31日
8月	October (オクトーバー)	31日	October	31日	Sextilis	29日
9月	November (ノヴェンバー)	30日	November	29日	September	29日
10月	December (デセンバー)	30日	December	29日	October	31日
11月			Januarius (ヤヌアリウス)	29日	November	29日
12月			Februarius (フェブルアリウス)	28日	December	29日
1年		304日		355日		355日 (366.3日)

農業が暦を必要とし、春に蒔いて秋に収穫するという目安に利用されていた。ロムルス暦は春分を含む月を年初一番目の月 (正月) として、1年は 10 ヶ月で 304 日であった。表2のように、現在に伝わる月名の由来にもなっている月もあれば、順番を示すだけの月もある。太陽暦の年 365 日に不足する 51 日は、冬籠りの期間とされていたと考えられている。(月名の由緒は紙幅の関係で省略した)

その後、ヌマが前 710 年頃作成したヌマ暦を経て、前 153 年頃にヌマ暦が改革され、2 月には閏日 (メルケドニウスという。隔年に 22 か 23 日) を設けて、地球から見た太陽と月の運行日数を調整している。ロムルス暦の各月は、2 ヶ月分後にずれ込むことになり、12 ヶ月の順序も現在と同じになった。この頃までには、太陽と月の運行日数に関して、ギリシャのメトンが前 430 年頃には 19 年間に 7 閏月を挿入して両者の日数一致を発見しており (メトン法)、ほぼ同時期に中国の周においても同様の方法 (章法と呼ぶ) が発見されていた。シルクロード経由の天体観測技術の東西交流があったのではないかと想像される。

2．太陽暦の採用

月を基準にした暦の運用と太陽による季節とのずれを調整することは、多くの為政者の頭を悩ませたに違いない。ユリウス・カエサルは、エジプト遠征からの凱旋時に、ローマへ太陽暦を持ち帰った。これが前 46 年に使用され始めたユリウス暦 (表3) であり、自分の誕生月に自分の名前を使わせ、ユリウスの月 (現7月ジュライ) とした。

ユリウス暦は 4 年に一度閏年を設けていた。しかし、その後の閏年の運用に誤りが生じ、初代ローマ皇帝アウグストゥス (カエサルの妹の孫、オクタビアヌス) はカエサルに対する冒瀆であると前 6〜後 4 年に改暦を実施した。併せて、ライバルを破った戦勝を記念して 8 月に自分の名を使用させた。現 8 月のオーガスト (尊厳者の月) である。また、このときに我々が西向く侍 (二四六九士) と覚えた現在の小の月と 31 日の大の月が整えられたことになる。

表3. 太陽暦の変遷

順序	ユリウス暦		アウグストゥスの改暦		グレゴリオ暦	
1月	Januarius	31日	Januarius	31日	January	31日
2月	Februarius	29日	Februarius	28日	February	28日
3月	Martius	31日	Martius	31日	March	31日
4月	Aprilis	30日	Aprilis	30日	April	30日
5月	Maius	31日	Maius	31日	May	31日
6月	Junius	30日	Junius	30日	June	30日
7月	Julius	31日	Julius	31日	July	31日
8月	Sextilis	30日	Augustus	31日	August	31日
9月	September	31日	September	30日	September	30日
10月	October	30日	October	31日	October	31日
11月	November	31日	November	30日	November	30日
12月	December	30日	December	31日	December	31日
1年		365日		365日		365日

3．年初の指標は冬至

西暦紀元 (ゼロ年) 頃までに、キリスト教が太陽暦を取り込んだと考えられる。キリスト教における復活祭は最も重要な祭であり、それを中心にキリストの誕生日 (クリスマス)、聖母マリアの受胎告知日などが決められている。太陽暦が古代ローマに伝わった頃は、「春分の日が 3 月 25 日」、「冬至が 12 月 25 日」であったと推定される。太陽の勢いが最も弱い日が冬至で、その日 12 月 25 日がキリスト教ではキリストの誕生日とされた。その後の日々に七曜 (月火水木金土日) を適用すると、翌年1月1日は日曜で強くなり始め、復活した最初の太陽の日ということになる。キリスト教では「復活」が最重要視される所以である。したがって、「太陽もいたと云う。そして又十日や半月は平和な村になってゆく。

私は戦争の一時期、大陸北支の村に駐在したことがあるが、この中国の山深い村でも雨乞いの様子を見たことがある。人々は線香をくゆらし、雨の神へ祈願をこらしていた。いずれの国でも最後は神頼み、この時、雨降り祈願の座にいて雨がふれば、この人は世の救い主又は神の使い女と仰がれたのである。

(平成十二年発行)

【著者紹介】
井上正吉。大正8年生れ。多摩市関戸在住。現在も元気に田や畑を耕し、短歌・俳句を詠み、謡曲を習う。主な著書は『吉富の村人たち』『多摩の語りべ』『多摩の民話』『帥人』など。

暦は冬至を年初の指標として作られていた」と言えるであろう。

325 年ローマ皇帝コンスタンティヌス 1 世は、小アジアのニカエアで宗教会議を開催しキリスト教をローマ国教として公認すると共に、春分の日を 3 月 21 日に固定し復活祭を春分後の最初の満月後の最初の日曜日と決定した。これによって 冬至も現在の 12 月 21 日頃となった。これらは閏年の適用が不適切だった為に生じたずれであったと思われる。

4．グレゴリオ暦 (現在のカレンダー）へ

この後、またまた閏年の運用が誤っていたことが発覚する。天体観測技術が遥かに向上したことも大きな要因であると考えられる。1582 年ローマ法王グレゴリウス 13 世は、「ユリウス暦による春分の日が 3 月 11 日にずれていた」ために英断を下すことにした。同年 10 月 4 日でユリウス暦を廃止し、翌日を 10 月 15 日とするグレゴリオ暦を採用するよう指令した。空白の 10 日間を調整すると共に、閏年の適用を現在のものにしたのである。我々は、このグレゴリオ暦を現在カレンダーとして利用しているわけである。

グレゴリオ暦は、現在、世界で広く採用されているが、当初はカトリック教国（イタリア、フランス、スペイン等）ではすぐに採用されたものの、プロテスタントの国々（イギリス、デンマーク等）では 18 世紀後半になってようやく採用された。日本では、1873 年 1 月 1 日（旧暦明治 5 年 12 月 3 日）から、急遽、採用し現在に至っている。

おわりに

次回は、日本で 1872 年（明治 5）12 月 2 日まで利用されていた旧暦の由来や日本での暦の使用開始時期等について述べてみたいと思っている。

更に大きく前進しよう

2009年度定期総会終了

第 5 回定期総会は、5 月 24 日(日)14：00から出席者 40 名、委任状提出者 101 名のもと関戸公民館大会議室で開催された。宮田団長より昨年度の活動報告がなされ、続いて決算報告、会計監査報告、今年度の活動方針と予算、今年度の役員候補が提案され、承認された。総会終了後、多摩ニュータウンタイムズ社主・横倉舜三氏による「変貌する多摩を見つめて」と題しての講演があり、多摩丘陵の開発にかかわる大変興味深く貴重なお話を聞くことが出来た。

今年度の活動方針の概略と役員役割分担は以下の通りです。

●活動方針★★★★★★

活動の基本目標である「歴史の道を活かしたまちづくりとコミュニティの提案」は歴史古街道団結成以来の精神で、今年度もその基本目標にそって啓蒙活動と地域交流活動を行う。

1、ウォーキングマナーの向上
2、有償のガイドリーダー養成の推進
3、歴史古道フットパスの推進
4、歴史古道の保全と活用
5、府中市市制 55 周年記念事業「こくふロマン交流祭」への協力と5回目になる団主催「さきもりまつり」の実施
6、歴史古道・遺跡・民俗の調査研究

●新役員体制★★★★★★

顧問/藤田道男、今野耕作　相談役/河村重雄　団長/宮田太郎　副団長/藤田一彦　事務局長/濱野千秋　事務局次長/中尾勝義　事務・会計部/中尾勝義、三好一雄、斎地カズエ、八木原呆子、山崎ひろ子、河村重雄　広報部/遠藤邦江、須永洋子、河村重雄　調査研究部/中丸三次、奥村辰三、小菅勲、秋田慎子、斎地カズエ、須知正度、奥村辰三　野外活動部/須知正度、麻生直昭、天野鑑一郎、和智章　地域交流部/和智章、八木原呆子、田口俊弥、中村敬子
会計監査/石井卓治

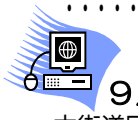
新入団員募集中です！

年会費は 3,000 円(4/1～3/31)
但し、10 月以降入会は年会費 1,500 円

【お申し込み方法】
郵便振替用紙の申し込み欄に必要事項をご記入の上、**年会費(3,000 円)**をお振込みください。(10 月以降 1,500 円)
尚、家族会員は 1 口分で OK です。
(例) 家族会員がご夫婦の場合は
2 人で会費 3.000 円

【振込先】
☆口座名/歴史古街道団
☆郵便振替口座番号
00140-7-445195

※入団等に関するお問い合せは事務局まで
☎042-389-5534



団のホームページ
9月からリニューアル

古街道団は2004年10月9日に結団されてから、ことしの秋に丸 5 年目を迎えます。新年度の役員体制も整い、目標に向かってさらなる確実な歩みを始めています。ホームページも、パワーアップしてリニューアルオープンします。

5周年記念 講演会とパーティー開催

☆日時：12月12日（土） 13:00～17:00
☆会場：京王プラザホテル多摩
☆会費：4,000 円

歴史古街道団創立 5 周年を記念して特別記念講演会と記念パーティーを開催します。詳しくは追ってお知らせいたします。

※問合先/☎090-7002-3431(宮田)

多摩の昔ばなし ⑤
雨を呼ぶ山

井上正吉著
『野翁小咄』より

昔も今も農業と云う仕事は天候に左右される仕事である。いくら努力しても、百日の旱に会えばすべては水の泡、田畑はひびが入り、作物は枯れ果てて収穫はない。他処から物資が入ってこない昔、それは村全体が餓えて死ぬことになる。夏の暑い日も十日も続くと、みな雨が欲しい、これがその日の挨拶となる。関戸の村の畑もすでに萎れて枯死寸前、田甫も用水堀が干上がって、番水、時には水喧嘩となる。番水とはなけなしの用水を交代で引くこと、これも旱天が長く続けば方法がない。百姓達は西の彼方にそびゆる丹沢の大山を眺めて、これに雲のかかるのを頼みにし、小山に白い雲がかかると雨に到れと祈るのであった。乾ききった相模武蔵の大地を雨がうるおすと狂気のように飛び出して喜ぶ人々。中にはずぶぬれとなって踊る老婆

2009年夏から３月末までの歴史ロマン古道予定表（一部計画中を含む）

注）問合せ欄；(団)＝歴史古街道団、【協力団体】(里)＝鎌倉古道さとびとの会。旅行以外は事前の申し込みは不要です。
探索・学習テーマ欄；歩＝宮田太郎ウォーキング、学＝講演会／学習会、ガイド＝ガイドリーダーウォーク

月日	集合場所･時間	探索・学習テーマ	参加費	申込み	問合せ先
８月20日(木)	関戸公民館８Ｆ第３会議室（ＶＩＴＡ８Ｆ）13:30	【学】“ 里みち ”から始まる大人の豊かなる嬉し・楽し遊び術	団員:500円 一般:700円	当日	(団)宮田 TEL090-7002-3431
８月22日(土)	京王相模原線「稲田堤駅」北口改札口前 09:30	【ガイド】築井（津久井）紀行　小山田与清の道をだどる－Ⅳ、寿福寺～小沢城編	団員:500円 一般:700円	当日	(団)横田 TEL090-8516-3041
８月29日(土)～30日(日)	関東地区からは8月28日(金)出発予定	【旅行】北海道フットパスの集い、歩こう北海道！上富良野フットパスの道	問い合せ	〆切 8月中旬	(団)宮田 TEL090-7002-3431
９月６日(日)	関戸公民館８Ｆ大会議室（ＶＩＴＡ８Ｆ）14:00	【講】多摩の発掘調査事例「打越山遺跡」･「和田西遺跡」、講師：山崎和己氏	団員:500円 一般:700円	当日	(団)宮田 TEL090-7002-3431
９月13日(日)	京王線「百草園駅」改札口前 10:00	【ガイド】幻の「真慈悲寺」と中世の山城「百草城」	団員:500円 一般:700円	当日	(団)佐藤 TEL042-373-3193
９月14日(月)	多摩消防署08:45～13:00	【学】普通救命講習（AED）	初講習:1400円 再講習:1200円	〆切 9月1日	(団)和智 TEL090-8515-9439
９月22日(火・祝)	小田急線「新松田駅」改札口前 09:00	【歩】富士山麓小山町と御殿場の足柄古道防人道	団員:700円 一般:1,000円	当日	(団)宮田 TEL090-7002-3431
10月１日(木)	京王相模原線「南大沢駅」改札口前 10:00	【歩】相模川の鮎を江戸城へ“ 南大沢の鮎街道 ”、（講師：宮田太郎）	800円	当日	(里)遠藤 TEL042-376-1122
10月３日(土)	JR京浜東北線／品川駅	【バス】成田の龍角寺白鳳仏と巨大ピラミッド古墳の謎、、先着 24名、講師：宮田太郎	12,000円 (昼食・拝観別)	主催：ふろむな倶楽部 問合・申込 TEL0120-98-2674	(団)宮田 TEL090-7002-3431
10月９日(金)	JR東海道線／京都駅	【バス】京都最古の神社「日向大神宮」と東山の古街道、先着 24名、講師：宮田太郎	13,000円 (昼食・拝観別)		(団)宮田 TEL090-7002-3431
10月10日(土)	JR東海道線／京都駅	【バス】醍醐寺から平等院へ宇治川の古街道を探る、先着 24名、講師：宮田太郎	13,000円 (昼食・拝観別)		(団)宮田 TEL090-7002-3431
10月13～15日(火～木)	JR東海道線／東京駅	【バス】熊野古道中辺路と熊野三山聖地を歩く、先着 24名、講師：宮田太郎	99,000円 (昼食・拝観別)	問合せ	郵船ﾄﾗﾍﾞﾙ、諸井 Tel03-5213-6237
10月24・25日(土・日)	24日シンポジューム13:00～ 25日パレード10:00～	府中市制施行55周年記念､国府ふるさと2009 国府ロマン交流祭in府中	問合せ：府中市文化スポーツ部文化振興課 Tel　042-335-4473		
11月１日(日)	京王線「聖蹟桜ヶ丘駅」西口改札口前09:30	さきもりまつり２００９	大人:500円 中学生以下無料	当日	(団)宮田 TEL090-7002-3431
11月14日(土)	JR中央線/京王線「高尾駅」南口（京王側）改札口前 09:30	【ガイド】鎌倉街道秩父道と八王子城上道を探る	団員:500円 一般:700円	当日	(団)山下 TEL090-5208-3123
11月20日(金)	京王線「北野駅」改札口前 10:00	【歩】砦跡だった？！猿丸峠（野猿峠）と大展望の長沼公園、（講師：宮田太郎）	800円	当日	(里)遠藤 TEL042-376-1122
11月22日(日)	京王線「聖蹟桜ヶ丘駅」西口改札口前 10:00	【歩】多摩の古街道遺跡群を深く知るシリーズ①、連光寺の古代測量台と天王森舟ヶ台	団員:700円 一般:1,000円	当日	(団)宮田 TEL090-7002-3431
11月26～28日(木～土)	JR東海道線／東京駅	【バス】丹後国の浦島伝説と元伊勢・籠神社の古街道、先着 24名、講師：宮田太郎	99,000円 (昼食・拝観別)	問合せ	郵船ﾄﾗﾍﾞﾙ、諸井 Tel03-5213-6237
12月２日(水)	京王線「聖蹟桜ヶ丘駅」西口改札口前09:30	【歩】野津田の丘の綾部原古戦場と薬師池、（講師：宮田太郎）	800円	当日	(里)遠藤 TEL042-376-1122
12月８日(火)	小田急線「鶴川駅」北口改札口前 10:00	【歩】薬師池から本町田井出の沢古戦場の古街道	団員:700円 一般:1,000円	当日	(団)宮田 TEL090-7002-3431
12月12日(土)	京王プラザホテル多摩 13:00～17:00	【学】創立５周年記念大会、 ＜記念講演＆記念パーティー＞	4,000円	〆切 11月30日	(団)宮田 TEL090-7002-3431
１月16日(土)	JR横浜･中央線「八王子駅」北口改札口前 09:30	【ガイド】鎌倉街道秩父道と案下道を探る	団員:500円 一般:700円	当日	(団)山下 TEL090-5208-3123
１月23日(土)	小田急･京王多摩センター駅小田急側改札口前10:00	【歩】町田で最も美しい古街道跡を訪ねる、土方歳三が歩いた竹林の中の古街道	団員:700円 一般:1,000円	当日	(団)宮田 TEL090-7002-3431
１月26日(火)	小田急線「よみうりランド駅」南口改札口前 09:30	【歩】百合ヶ丘の古代風水都市ロマンを探る、（講師：宮田太郎）	800円	当日	(里)遠藤 TEL042-376-1122
２月11日(木・祝)	小田急･京王多摩センター駅小田急側改札口前09:30	【歩】古道の聖地・三社大権現・布田道と謎の古墳	団員:700円 一般:1,000円	当日	(団)宮田 TEL090-7002-3431
２月16日(火)	小田急線「新百合ヶ丘駅」改札口前 10:00	【歩】新百合ヶ丘の徳川家康・日光台と茶臼山、（講師：宮田太郎）	800円	当日	(里)遠藤 TEL042-376-1122
２月27日(土)	JR中央線「国分寺駅」改札口前 09:30	【ガイド】半日のミニウォーキング「ハケの道シリーズⅥ」国分寺崖線の今昔	団員:500円 一般:700円	当日	(団)佐藤 TEL042-373-3193
３月７日(日)	小田急線「本厚木駅」中央改札出て左の広場 12:00	【歩】厚木で発見した関東最古級？の前方後円墳見学会	-	当日	(団)宮田 TEL090-7002-3431
３月26日(金)	西武多摩湖線「武蔵大和駅」改札口前09:30	【ガイド】兵どもが夢の跡、鎌倉街道上ノ道と小手指原古戦場	団員:500円 一般:700円	当日	(団)佐藤 TEL042-373-3193
３月30日(火)	小田急線「鶴川駅」改札口前 10:00	【歩】白洲正子が愛した能ヶ谷の里、（講師：宮田太郎）	800円	当日	(里)遠藤 TEL042-376-1122

編集後記

天候不順な日が続き、今年も異常気象の夏になりそうです。「歴史古街道団」は、今秋には発足満５年を迎えます。毎月のウォーキングや毎年恒例の“さきもりまつり”などお楽しみ下さい。お便りもお待ちしています。

編集責任：歴史古街道団広報部（河村・金子・遠藤）

【発行】歴史古街道団
事務局：〒206-0013 東京都多摩市桜ヶ丘 4-36-21 APT1･2･3-302
宮田太郎（歴史古街道団団長）　TEL/FAX　042-389-5534
http://homepage3.nifty.com/kokaido/